



はちもり

校訓：海のように 波のように 岩のように

令和6年9月20日(金) 第21号 文責：安部 晃幸

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



不審者避難訓練

～「もしも」に備えて～

9月18日(水)



不審者対応の避難訓練を行いました。声を荒らげ学校へ入ろうとする不審者を職員がくい止めている間に、教室ではバリケードを組んだり、静かに身を隠したりするなど、状況を考えながら行動する訓練でした。

体育館に移動してから、警察の方が日常生活の危険な場면을イメージさせながら、不審者に遭遇したときの対処方法や心構えを教えてくださいました。子どもたちは、日頃から危機意識をもって生活することの大切さを再確認しました。



不審者を見童玄関前で取り押さえ!



警察署員とスクールガードの皆さん



「イカのおすし」を再確認

秋の交通安全運動実施(9/21~30)

秋の交通安全運動が始まります。来週の朝、職員や保護者の方々が交通ルールの遵守を呼びかけます。

日暮れも早くなるこの時期は、交通事故の起こりやすい時期でもあります。事故に巻き込まれないためにも、交通安全に気を配らせていきたいと思えます。

ご家庭でも、お子さんが安全に登下校できるように、家を出る際に一声かけてくださるようお願いいたします。



職員の刺股(さすまた)講習会も実施

避難訓練に先駆け、能代警察署の署員を講師に、刺股講習会を行いました。不審者と十分に距離をとることや相手を牽制する時の基本動作について確認した後、実際に刺股を使って壁に対して抑え込む練習をしました。いざというとき、子どもたちの安全を守れるよう、理解を深めました。



9/19(木) 2年 梨狩り体験

笠原果樹園を訪問しました。たくさんの梨をとるだけでなく、果樹園で働く人にインタビューをして、働く人の努力や工夫について学びました。

おまちかねの試食では、大きな梨にかぶりついて、笑顔満開でした。さわやかな晴天の下、秋を満喫することができました。



10月8日(火)の「マラソン大会」に向けて、早くから練習が始まっています。目標はマラソン大会でも見られる距離ですが、それ以上走るつもりです。9月とはいえ、暑くはない日もありますが、状況を見て、無理をさせずに練習をさせていきます。



今週の一枚



10月8日(火)の「マラソン大会」に向けて、早くから練習が始まっています。目標はマラソン大会でも見られる距離ですが、それ以上走るつもりです。9月とはいえ、暑くはない日もありますが、状況を見て、無理をさせずに練習をさせていきます。

授業の様子から



【1年】国語
「うみのかくれんぼ」を読んで、「何が」、「どのように」かかっているのかを読み取っています。全員、正しく音読することができました。



【2年】生活科
町探検で訪問する各施設での質問内容を考えています。友達の発表に耳を傾け、付け足したり、他の質問内容を発表したりして、交流していました。



【3年】算数
10000より大きい数の並べ方を調べるために、数直線を使って正しく読み取る方法を学習しています。全員、意欲的に問題に取り組んでいました。



【4年】英語
「Do you have ~ ?」、「How many do you want?」を使い、お客と店員になり、ペアで文房具購入のやり取りを行いました。英語で楽しく交流していました。



【5年】音楽
楽器の音色や重なり合う音の響きに気を付けながら、鍵盤ハーモニカとリコーダーに分かれて、楽曲「キリマンジャロ」を合奏しています。なかなか息の合った合奏です。



【6年】算数
平均値や最頻値、中央値といった「代表値」を活用することで、集団の特徴を調べたり伝えたりすることができることを学習しています。

つゆき

ふるさとの味

味覚の秋です。地元を離れた知り合いからふるさとの味覚を楽しみたいという連絡があり、藤琴川の天然アユとホゲツト肉を送りました。翌日、懐かしい味だったとさっそく返信がありました。



時季になれば、様々な地域から手に入れることができるアユやホゲツト肉ですが、ふるさとの味はやはり格別なのでしょう。私にとっても懐かしい味があります。いろいろ思い出されますが、もう一度食べてみたいと思うのは、伯母が作ってくれた「小なすのわさび漬け」と、祖父が作ってくれた「ヤツメウナギの串焼き」です。

前者は、わさびのツンとくる辛さが絶妙で、やみつきになりました。「手の込んだものは作れないけど。」と言いながら、「もっと食べれ、もっと食べれ。」と嬉しそうに促す伯母の姿を思い出します。

後者については、小学生の頃、祖父が捕ってきたヤツメウナギを、勝手口でぶつ切りにするのを眺めていた記憶があります。

串刺しにしてコンロで焼き上げますが、タレの焦げたにおいが家中に広がります。熱燗を口にすると祖父の隣に座りながら、少し硬い串焼きを食べるのが初冬の恒例行事でした。

家族の作ってくれたささやかな一品が、家族で食卓を囲んだ子ども頃の思い出を呼び起こし、懐かしい思いにさせてくれます。同時に、当時の家族の繋がりの深さも感じます。

ふるさとの味は、懐かしい思い出とともにあります。